

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	大学病院就業環境改善推進事業		担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	事業開始年度:平成21年度		担当課室	医学教育課大学病院支援室		大学病院支援室長 平野 浩之		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画・通知等	医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について (平成22年4月30日 厚生労働省医政局長通知)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域医療が崩壊する中で大学病院に患者が集中し、医師や看護師が過重労働を強いられていることから、医師や看護師が行っている事務的な作業を補助する職員(医師事務作業補助者)を配置することにより、医師や看護師の業務負担を軽減させて本来の医療業務に専念させ、患者への医療サービスを向上させる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	大学病院における検査の予約管理、書類や伝票の整理、患者の転院先病院・診療所との連絡調整、患者の案内、院内の物品の搬送、ベッドメイキングなど、医師や看護師以外の者であっても行うことが可能な作業を担当する医師事務作業補助者を大学病院に配置し、医師や看護師の業務負担の軽減を図る。 (補助金補助率:定額補助)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	3,024	2,175	2,066	2,066	10,219 ※	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計	3,024	2,175	2,066	2,066	10,219 ※		
	執行額	2,761	2,175	2,066				
執行率 (%)	91.3%	100.0%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	医師事務作業補助者の配置人数		成果実績	人	2,085	1,392	1,234	1,129
			達成度※1	%	186%(1,120)	160%(870)	109%(1,129)	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	プログラム実施数		活動実績 (当初見込み)	件	79	79	79	—
					(79)	(79)	(79)	
単位当たりコスト	26.2百万円(百万円/件)		算出根拠	単位当たりコスト =23年度執行額(2,066百万円)/プログラム実施数(79件)				
平成24-25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	大学改革推進等補助金	2,066百万円	10,209百万円※	※事業番号0156、0157及び事業番号新24-0010と事業の再構築を行うため、平成25年度要求額は事業番号0156、0157と同額を記載。 日本再生戦略に関する「重点要求」4,500百万円				
	大学改革推進等補助金事務費		10百万円※					
計	2,066百万円	10,219百万円※						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・深刻な医師不足問題や地域医療の崩壊により、地域医療の最後の砦である大学病院に患者が集中し、医師は過重労働を強いられている。 ・本事業において、医師事務作業補助者(医療クラーク)等を雇用し、関係職種間の役割分担を推進することにより、医師等の業務負担の軽減を図り、大学病院の教育・研究機能を強化することは、広く国民のニーズがあり、国が実施すべき優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬上の算定の対象外となっている大学病院本院(特定機能病院)に対して、医師等の勤務環境の改善に関する計画に基づいて、一定の基準に従って、支出先を選定している。 ・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・用途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各大学病院において、医師事務作業補助者の活用により、医師の超過勤務時間が減少するなど業務負担が軽減する傾向にあり、着実に成果が表れている。 ・例えば、国立大学病院においては、自己負担分も含めて雇用している医療クラーク・看護補助者等の人数が増加(平成22年6月:3,240人→平成23年6月:3,757人)するなど、関係職種間の役割分担の推進をより一層図っている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名 —	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業により、各大学病院に医師事務作業補助者を配置(平成22年度は2,085人と目標を大きく上回る(平成23年度は調査中))することで、医師や看護師の業務負担を軽減し、本来の医療業務に専念することが可能となっている。 ・また、国立大学病院においては、自己負担分も含めて雇用している医療クラーク・看護補助者等の人数が増加(平成22年6月:3,240人→平成23年6月:3,757人)しているが、本事業の実施が影響を与えたものと推測される。 ・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・用途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 ・平成24年度においても、引き続き、各大学病院においてより効果的に医師事務作業補助者を配置し、医師及び看護師の業務負担の軽減により、患者への安全な医療サービスの向上を図る。 		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業評価の観点：本事業は、大学病院において医師事務作業補助者(医療クラーク)を配置し、医師や看護師の業務負担を軽減することを目的とした国公立大学に対する補助事業であり、予算執行状況の観点から検証を行う。 2. 所見：本事業については、過去のレビューを踏まえ、予算の縮減を図ったところであるが、平成25年度概算要求においても、積算単価を再検証するなど、引き続きコスト削減に努めるべきである。 		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>予算監視・効率化チームの所見を踏まえて、事業内容を精査し、賃金の積算にあたって時給単価の見直しを行うとともに、大学・大学院における専門医療人材養成事業、大学病院人材養成機能強化事業及び医学部・大学病院の教育研究活性化及び地域・へき地医療支援人材の確保事業と統合し、より社会のニーズに沿った支援が可能となるよう事業の再構築を行うことにより、概算要求に▲478百万円反映した。</p>		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>※1 ()内は各年度における目標値であり、達成度(%)は各年度の目標値に対する率を記載。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0172	平成23年行政事業レビュー	0151

文部科学省
2,066百万円

対象大学から申請のあった事業内容を審査の上、支援対象とする取組を選定し、補助金を交付する。

↓
【補助】

A. 大学(全79件)
総額 2,066百万円

大学病院において医師事務作業補助者を配置し、医師や看護師の業務負担を軽減する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A. 杏林大学			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人材派遣料	病棟看護助手業務、病棟クラーク業務	42			
病棟業務補助	ベッドメイキング業務、SPD(物品等搬送)業務、洗浄・消毒・滅菌業務等	28			
計		70	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.大学病院就業環境改善推進事業

※補助事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	杏林大学	杏林大学病院業務改善推進事業	70	—	—
2	大阪大学	大阪大学病院業務改善推進事業	70	—	—
3	東京大学	東京大学病院業務改善推進事業	52	—	—
4	東北大学	東北大学病院業務改善推進事業	50	—	—
5	岩手医科大学	岩手医科大学病院業務改善推進事業	43	—	—
6	帝京大学	帝京大学病院業務改善推進事業	43	—	—
7	日本医科大学	日本医科大学病院業務改善推進事業	43	—	—
8	名古屋大学	名古屋大学病院業務改善推進事業	39	—	—
9	大阪市立大学	大阪市立大学病院業務改善推進事業	36	—	—
10	東京女子医科大学	東京女子医科大学病院業務改善推進事業	36	—	—